

第4回富士見市男女共同参画社会確立協議会会議録

日 時 平成21年3月11日(水) 10:00~12:10

場 所 市長公室

出席者 委 員 金子(美)、金子(典)、森田、吉川、神保、高橋(秀)、横田
鳴、金子(眞)、岩崎

専門委員 小西

事務局 浅野、山岸、外澤

開 会 高橋会長

議 題 (1) 富士見市男女共同参画に関する市民意識調査集計結果について
前回検討の確認

事務局が前回検討による変更・追加点を報告。

(委 員)問17(P72)のコメント「伺えます」が修正されていない。
修正漏れ。「うかがえます」に修正する。

(委 員)問14(P57)~で共働きと、性別役割分担に同意しない人の
グラフを追加したが、その結果に対しての補足が必要ではないか。

調査結果の要約(P4) 家庭生活での役割分担の現実の部分
で、『~全体と比較して、「自分と配偶者が同じくらい」の割合
が高い結果になりました。』から『~全体と比較して、「自分と
配偶者が同じくらい」の割合が若干高い結果になりましたが、
依然として女性の負担が大きい現実がうかがえました。』と追記。

「4学校教育について」からの検討

事務局が、大項目ごとに説明。その後検討。

・欠席された高橋委員の調査結果に対するコメントを事務局が報告。

(委 員)問18(P74)コメント「男女とも意見の差はありませんで
した。」は全体的には、意見に差がない方が是とされる傾向があ
るが、ここではそうとも言い切れないこともあるので、あえて
書く必要はないのではないか。

「男女とも意見の差はありませんでした。」を削除する。

(委 員)問19-1(P75)の自由記述は、高橋委員からのコメント
にあるような現在の学校教育の現状と合っていない内容が多く、
調査の参考にならないように思うがこのまま載せるのか。

自由記述部分に手を加えることはできないので、現在の教育現
場の実情と合っていないものもそのまま掲載する。ただし、調
査結果の要約(P5) 義務教育における男女平等教育の部分
で現在の男女共修について記述する。

(委 員)問22(P80)コメントに、経年変化を比較した内容も追記

すると、前進がみられてよいのではないか。

『また、経年変化を比較すると、男女とも「出産まで仕事につき、出産後は家事や育児に専念するのがよい」の割合が減少し、「結婚して出産しても、仕事をもち続けるのがよい」が増加しています』を追記。

(委員) 問22(P79)年代別のグラフがあると、より詳細が理解できるのではないか

男女、年代別グラフを追加

(事務局) 問27(P87)グラフ中の「20~30歳」を「20~29歳」に訂正

(委員) 問38-1(P106)20代男性の「男性の理解が足りない・女性の能力に対する偏見がある」が60%で、際立って高いが、何か理由があるのか。

(事務局) 特に20代の男性は回答者が5名と少なかったため、回答に偏りが現れたと考えられる。

(委員) 年代により、顕著な特徴もみられないので、サンプル数の少ないデータ結果なら削除した方がよいのではないか。

削除

調査結果の要約について

(委員) P3 性別役割分担意識の文章の、「そう思わない」「思う」の表現が理解しづらい。

『「そう思わない」を「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方に肯定的な人』というように文章化する。

(委員) P4上から3行目の【庁内会...】を修正。

【町内会】に修正する。

(委員) P4 家庭生活での役割分担の現実で、<共働き>の女性の方が<全体>の女性よりも、「主に自分」とする人が全てにおいて多くなっているが、特徴と言えるのではないか。また、問14のグラフが表と接近していて見にくいので工夫が必要と思う。共働き女性の「主に自分」とする負担について記述を追加し、グラフの体裁を整える。

(委員) 就業の要約に、現在の社会情勢や雇用の状況を補足するとよいのではないか。

(事務局) 今回は、市民の意識を調査した結果なので、時代背景などの資料添付はそぐわないのではないか。その部分については、年次報告などに取り入れていきたい。

一同賛成

(2) その他 ・来年度の取り組みについて
4月から8回の会議を開催予定。次回は、男女共同参画に関する行動計画の平成20年度の進捗状況について検討。

(3) 次回の協議会開催日について
平成21年5月8日(金)午前10:00~
専門委員の小西先生が、大学のカリキュラムの都合上、H21年度は月初めか月末の金曜日がご都合がよい。

資 料 ・次第
・富士見市男女共同参画に関する市民意識調査(事前送付)

閉 会 横田副会長